

# 登攀系山行時のセルフレスキュー技術交流会

(埼玉県連 遭難防止・安全教育委員会、救助隊共催)



【期日】 2017年10月15日(日曜)

【山域】 ときがわ町非公開岩場

【主旨】

沢や岩場においてリード&フォローでの登攀時、フォローメンバーがアクシデントに依り行動不能になった際のセルフレスキュー技術確認と習得

【参加者の条件】

1. 自然の岩場でのリードクライミングの経験がある事
2. スリングまたはアッセンダーを使用し、ロープの登り返しが出来る人
3. 以下の必要装備を用意出来る人

レックループハーネス、登攀用ヘルメット、クライミンググローブ、デイジーチェーンまたはそれに相当するギア、安全環付きカラビナ4枚以上、カラビナ3枚以上、オートロック機能の有る確保器、エイト環、確保支点構築用の長めのスリング1本以上、フリクションノット用の細めのスリング2本以上、40m以上のダブルロープ1本

【集合】 ときがわ町役場本庁舎駐車場 午前8時

比企郡ときがわ町大字玉川 2490 番地・**第2庁舎ではないのでお間違いなく**

現地の駐車スペースが限られているため、役場からは乗り合わせで向かいます。

ときがわ町役場へ自家用車で来られない方は、連絡を下さい、参加メンバーに依るアプローチ時のピックアップの相談連絡をさせていただきます。

【申込】 埼玉県連事務局 尾手事務局長

※雨天等での中止は、10月12日(木曜)夜にメールにて行います。

県連事務局へ必ずメールアドレスをお伝えください。

【確認予定】

※今回の交流会は、最近メジャーになっているオートロック機能付き確保器によるフォローのビレーを前提に行います。但しロワーダウンさせる場合は、折り返しによるボディビレー技術も必要となります。

- ①確保器のオートロックを解除し、フォローをロワーダウンさせる。
- ②ロワーダウンテラスが真下に無い場合の介助懸垂一連動作
- ③ロワーダウンテラスが無く、ランナー解除後にレイジングシステムを使用する一連動作